

予防注射は必ず受けよう

つゆ時は、間が病氣にかゝりやすいものとおなじです。に家畜類も病氣の危険にさらされてゐます。

これは湿氣が多く、むしゝた日だけでなく、農家の畜舎が、段に粗末で目で、風通しが悪く、不潔なため、仕事のとつかれた牛や馬が、十分休むことができないやうなしくみになつてゐない。農繁期で、これ等の手人が行きとどかないこと、などによるのであります。

そこで家畜を病氣から守るため、つゆ時に家畜がかかるといふやすい病氣や予防法について県畜産課のはなしを聞かてみました。

ふくませ四足の自由を失ふ、普通
通病病後六―八日で倒れるが重症
である場合三日で死に至る。
前述のように小さな傷ほど、食ひ
りに治療して、もし症状を少しで
も発見したらすぐに獣医師にみて
もらひ、予防注射を受けておきた
いもの。

△ニユウカツスル病

ビナに多く見られる病気で、
動を嫌い、羽毛はよこれる。
きくに死ぬので「ビナ白癩」

△鶏チフテリヤ
「ルブ」「メツレ」「ハナケ」
等といろ／＼な名前と呼ばれて

今県では、経済自立化運動の一つとして、今まで、ほとんど利用されていない、ク雑竹林々を利用度の高いマツスギヒノキなどに植えかえるようすすめています。本町でも七月末日までに、刈払い（コバレ）をやり八月中に森林組合から検査をして、植えかえをやつた人には県から補助金を交付されることに、なつています。その他のくわしいことは、部落長に問合して下さい。

について

毎年行はれている苗代の一斉防除
は、みなさんの深いご理解と協
力で、年々成績があがっています
今年は、気象状況が病虫害の発生
に適しており、既にツマグロヨコ
バイ(稀ツブレ媒介) ヒメトビウ
作面積で按分負担していただき
とになつています。

一斉防除日割
校区名第一回防除日
第二回防除日
池田六月七日
六月十三日

町営茶工場一期の成績

荷を集めて1,600葉生

池田、宿利原の町営製茶工場の一、番茶製造は五月六日から十八日まで行はれ、非常によい成績で原料六〇〇メを消化しました

品質は上々

町営茶工場一期の成績

識されてきたものと思はれます。二つの工場の製品は、果下一を除る、宮之城茶にもおとらないものと折紙をつけられており、市場もつねに高値で取引されています。

昨年度の赤十字救済金は、新聞ラジオなどで、ご承知のように、まだ騰貴省の方での金額が決定しないで、お支払いができない状態と思われます。

であります。

目下、県の共済組合連合会の代表者が、上京して交渉中で、随糧の分は、近く解決するものと思はれますが、水稲は共済組合の評価と、統計調査事務所の調査数字との決定して、共済金がきましたら早速お支払致します。

大変、お待ちせしましたが、以のようなわけでですから、もう少々お待ち下さるよう、お願いいたします。

(大根占町農業共済組合)

日本では先づ畜力から

加州農業の特徴は機械化された農業経営にあると云はれ、世界でも第一位であり、

まずと第一が企業化農業による。利潤追求に主力が注がれ、大面積収入を増やそうとするもので、労賃高く、労作者に支払う労賃が支出の大部分を占めていること（一昨

間二七〇円以下を支払う違法で、

自 6 月 11 日—7 月 10 日

「この農繁期の留守をねらつて、物乞りや、いろいろの犯罪が一番多い時期です。警察は全力をあけて、防犯に努力しますが、かぎられた人数で、はたかな、完全な防犯はできません。」

農業技術講座

小出水操

前号までいろいろと述べてまいりましたので、甘藷の作りかたは、大体おわかりと思います。植付の時期も二十日ごろを境に非常に収量が少くなりますますので、今のうちに充分追肥をやつて良い過を植付けるようにして下さい、さて誰しもたゞき点の收かたを望みますが、本町での甘藷栽培上、改善すべき要点をかかげてもう一度反省して工夫研究してみましよう。

ほかにかたよつて小さい藩の利用

上の種「いも」の利用とともに糖
ぶせ時期になって、種薯がたんな
り少し上から切取るこ
ろが大切切取つたら苗で、
三番目までで切るのを止ま

たものを少し位はという軽い考えで、消毒しないで、利用すること

のないうように、補給は充分用意するようにつとめ、こくはん病は絶はほとんどが飼料畑で、たとさ

よる種諸栽培など実施して行くこと。

(2) 甘藷苗床面積が一般にせ
まい。反三〇三畝位であるから
年間三〇ノ消耗されると、云わ
ておきます、この有機分が多い

芽法では一五坪位にひろげると共に、苗末肥料を充分に施し、播の

五寸以上を置く、催芽法では
三〇%の有機分を、補うには、

置くこと。土入れもがただけで
な入れ方が多いので、株の間に充

分入れて適当に莖葉の間隔が出来
るよう氣をつけること。また育苗
する一方です。切替畑の必要も

乾燥しないよう肥切れしないよう

朝夕よく見まわつて、これ等の点に注意します。殊に木灰や過石をよつて、畚肥栽培の増反を考へて

十なものをやると子供はイチケル二

◎押売り、買いだしなごは、ごくに注意し、（ ）の（ ）を（ ）

◎外から見え

だり、自転車など、こられやすいものをおかないこと。

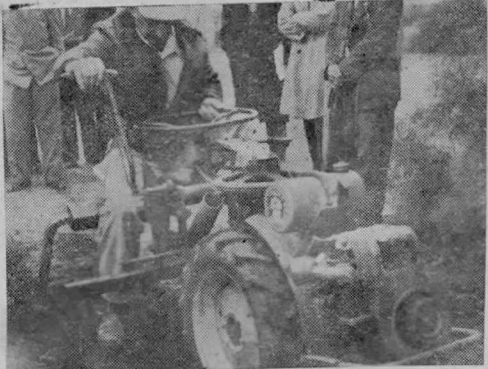
をねらいま

りこ、部屋をぐらくしてねましよう。

◎盜難にあつ

そのままで、少しでも早く駐在所にござけましよう。

●食前に必ず手を洗いきしよろ



アメリカ農業

加州農業の特徴は機械化された農業経営にあると云はれ、世界でも第一位であります、これは単に経営規模が大きく、ガソリンなどの資源に恵まれているからと簡単に片付けるものではありません。加州で機械化の発達した過程を考えてみますと第一が企業化農業による利潤追求に主力が注がれ、大面積収入を増やそうとするもので、労賃が高く、労作者に支払ふ労賃が支那の大部分を占めていること（一時間二七〇円以上支払ふ様法）を認めてあり平均三〇円位、第二に道路網が開闢していることである。終戦直後は重力（重）に機械化が、現在は金農家がトラクターを使用して居り農機具に対する関心は非常に高く、農民は専売特許をもつてゐる農民も、府ます。農機具を賣う経営は、府の補助もなく、自分の力で常農機具購入を目標にして、経営的なみならず、なほ努力が払はれられます。第一方会社でも月賦販売